

シチメンハウ 2月号

東と賀中生徒の活躍に保護者・地域・学校のまなざしを！

「がばいよか笑顔あふれる学校」とは新生徒会長 兵頭空良さんの学校創造目標です。

日	曜	校内行事	短	教育課程						
				②	③	④	⑤	①	研	
1	水	生徒朝会/フッ素/特色選抜 願書提出/⑤私立一般事前指 導/小中合同研 15:30~ 16:40)		○	○	○	○	○	○	研
2	木	☆私立入試(龍谷牟田口/清 和佐女子・川原/佐学深通/北 陵吉岡)/⑤⑥2年先輩に学 ぶ⑤⑥1年社会人に学		○	○	○	○	○	○	○
3	金	「いじめ(命)を考える日」		○	○	○	○	○	○	○
4	土									
5	日	J/バレー体育館使用(終日)								
6	月	研究推進委員会/⑥授業補充		○	○	○	○	○	○	○
7	火	職員朝会/私立一般合格発表 /特色選抜入試事前指導		○	○	○	○	○	○	○
8	水	学年朝会/校内研/特色選抜 入試(佐西教頭/佐東深通/佐 工吉岡/佐商川原/高志古館/ 牛津江口)		○	○	○	○	○	研	研
9	木			○	○	○	○	○	○	○
10	金	日南市教育委員会学校訪問/ 生徒会役員リーダー研 (13:30~15:55 市岡原、 生徒会役員3名)町民文化祭		○	○	○	○	○	○	○
11	土	「建国記念の日」町民文化祭								
12	日	町民文化祭								
13	月	佐賀市部活動一斉休みの日/ 県教育長表彰(14:30~ 15:30 県庁教頭生徒2名		○	○	○	○	○	○	研
14	火	職員朝会		木	曜	日	校	時	ヨ	
15	水	全校朝会/職員会議/フッ素 /20:00~PTA幹事会/特 色選抜合格内定/授業参観川 崎中学校・佐世保市立宮中 学校③④		金	曜	時	間	割	研	
16	木	短縮6時間(特選情報提供)	短	火	曜	時	間	割	よ	
17	金	短縮5時間(特選情報提供/ 県立一般入試願書点検	短 縮	水	水	水	水	水	水	×
18	土			②	③	④	⑤	①		
19	日									
20	月	学年末テ/校内研(教科部会)		○	○	○	○	○	×	×
21	火	職員朝会/学年末テ/県立一 般入試願書提/校内研(心肺 蘇生法)		○	○	○	○	○	×	×
22	水	学年末テ/④防犯教室/生徒 指導協議 14:00~15:30		○	○	○	安	×	×	
23	木			○	○	○	○	○	○	○
24	金	3年評定締切/佐世保市立宮 中訪問3名		○	○	○	○	○	○	○
25	土									
26	日									
27	月	生徒会専門部会		○	○	○	○	○	○	生
28	火	職員朝会		○	○	○	○	○	○	○
29	水	生徒朝会/フッ素/学年部会/ ①3年生を送る会		○	○	○	○	○	○	研

啐啄の機

校長 野口 敏 雄

「啐啄(そったく)の機」・・・言い古された言葉かも知れませんが、子育てや教育の場面において、とても意味深い言葉です。

私は、子どもたちと向き合うときは勿論ですが、その他、判断を求められるような様々な場面で、この言葉を噛み締めます。

ひな鳥は、卵から孵化(ふか)する時に、卵の内側から殻をつつきます。その様子を伺っている母鳥は、頃合を見計らって外側から殻をつつきます。この「頃合」というものが、とても大切であり、「啐啄の機」と言われています。

母鳥は、ひな鳥が殻を破って外に出るために中からつつく様子を伺い(見守り)、言うならば、ひな鳥自らに努力をさせ、「さあ、今こそ」のタイミングで外からつつくのです。母鳥がつつくのは、早すぎても遅すぎてもいけません。そのタイミングは、ひな鳥の様子によって違います。ここが大事なところ。丁度のタイミング、適時と言いましょか、得難い良い時機を見計らい、手を差し出すのです。

このことから、私たちは次のことを学ぶことができます。「まずは努力させること」、「それを見守ること」、「成し遂げた感動を共有すること」・・・結果、たくましさや自立心、信頼関係も強くなります。

最近の人間世界はどうでしょう。一般的な大人の傾向として、どうも「せっかちさ」や「心配性」が多いのではないかと気になります。子どもたちに、ついつい手を出し、口を出す。世の中の様相からでしょうか？ まずは、子ども自身が「何かを行うこと」が大事で、その結果、例え失敗しても、失敗という大事な経験をすることになる。その経験が「〇〇だったから失敗した」「だったら、次は〇〇しなくちゃ」などという知恵となり、この積み重ねが生き抜く力となっていくのではないのでしょうか。

昔は、よく地域の広場などで遊んでいた子どもたち。そこには異年齢集団がありました。

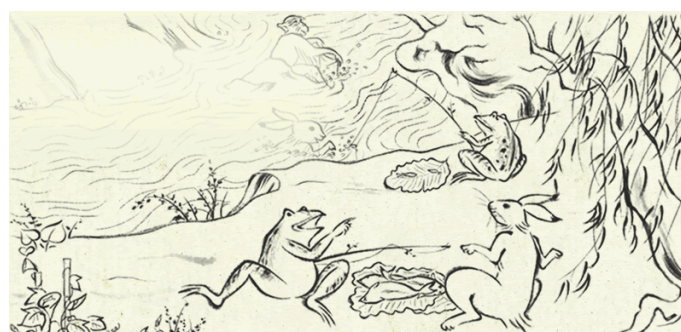
年上や年下との関わりを通して「怖さ」「優しさ」「節度」「我慢」等々を学び、遊びを通して「工夫」「知恵」「努力」「競争心」等々を学んだものです。

そういった子どもたちのコミュニティがなくなって、大人との関係が多くなった子どもたち。

何かをするにも、ルールを敷かれ、マニュアル通りに、準備してもらって、後片付けまでしてもらって・・・これで、生き抜く力やたくまさが育まれるとは・・・・・・？

任せきれない大人、待てない大人、さらには、大人自身の尺度で子どもたちに結果を求めてしまう傾向。

私たち大人は、改めて自然の摂理を見つめなおし、生き抜く力をひな鳥に求める母鳥の行動に学ぶ必要があるようです。



【3月の主な行事】
 新入生部活動体験(3/) / 1年社会人に学ぶ・2年先輩に学ぶ・クラスマッチ(3/7) / 第65回卒業式(3/9) / 1・2年学年末PTA(3/13) / 小6・中1担当者打ち合わせ会議(3/21) / 平成23年度修了式(3/23)
 【3年生進路関係】
 県立後期試験(3/7~3/8) / 県立高校合格発表(3/15)
 【3月のPTA関係】
 PTA定例幹事会(3/14) / PTA委員会 / PTA監査

1 東与賀中生徒の 1月の活躍と承認

職員も

東与賀中の生徒の良さを知っていただき、ちょっとしたときに「がんばっていたね!」と声をかけていただければと思っています。よろしくお願いいたします。



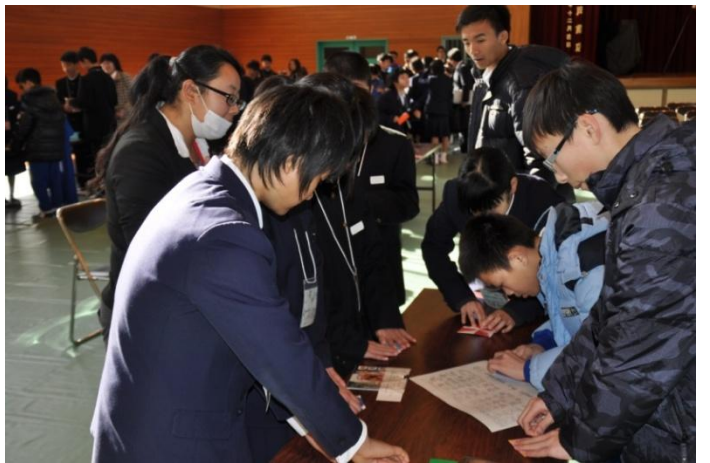
1月17日(火) 中国広東省より東莞中学校修学旅行団来校

昨年に引き続き、今年も東莞中学校より修学旅行団が来校し、交流会を開催しました。本校校長のあいさつに始まり、東莞中の先生(団長)からのあいさつもいただきました。生で聞く中国語は大変新鮮で、1年生のみならず、職員も興味津々に聞きっていました。総合司会は、角田裕一君。落ち着いたおもむきで、通訳の方と呼吸を合わせながら、いい日本語で立派に大役を務めました。



また、原口裕子さんは、1年生を代表し得意の中国語で歓迎の言葉を述べました。

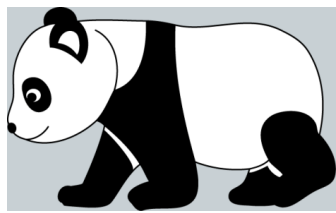
東与賀中学校からは、1年生の各学級が日本の有名な童謡(めだかの学校、もみじ、さくら「合奏」)を歌いました。東莞中学校からの出し物は、2人のお友達が、中国で流行っているアイドル(?)の歌を独唱してくれました。会の後半は、双方がグループになって折り紙をつくりました。鶴を折ったり、コマを作成したりしながら、これまで学習した英語を駆使して交流を深めました。



外国の人って

長谷川 廉

東莞中の人たちが体育館に入ってきたときは、とてもうれしかったです。でもとても緊張していました。中国の人はとても背が高くてびっくりしました。中国の人が歌を歌ってくれた時は、「中国の歌はハードルが高すぎ!」と思うほど上手でした。折り紙を折るとき、中国語も英語も分からなくて、しかも身長が高くてまたまた緊張しましたが、とても楽しかったです。東莞中学校の人たちと交流ができて「外国の人たちもやさしい!」ことを知りました。



ジェスチャーは大切!

荒木 百花

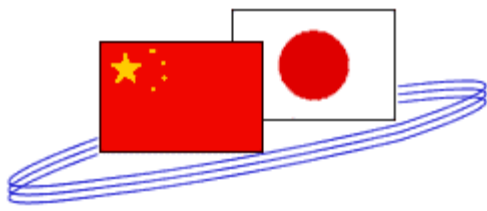
私は交流会でリコーダーを演奏しました。1Cのみんなで演奏したり、1年生みんなで合唱したりしました。でも、中国の生徒さんは一人でも前を歌ってくれました。その歌はとても上手でした。私たちがいたら、そんなことができるのかなと思いました。そして、中国の生徒さんからの出し物も終わると、グループになりました。私たちの班には、男子の生徒さんが二人来ました。「どうしよう!」、いろいろ考えました。でも、何かしゃべらないと、どうにもならないので友だちの一人が、「好きな色は何ですか?」と英語で聞いたら、その男子生徒は、「ブルー」と答えてくれました。私は、青色の折り紙を渡して一緒に作りました。私は、英語ではしゃべれなかったのですがジェスチャーで伝えました。伝わるのかも心配でしたが、その二人も分かってくれたのでとてもうれしかったです。とても楽しい時間でした。



もっと英語をがんばろう

立石 彩奈

私は東莞中学校の生徒たちと交流をして、いい経験ができたなと思いました。学校代表の挨拶の時は、中国の話が長くて、中国の話はこんなに長いのかと一瞬思いましたが、お互いの出し物の時は一生懸命さがとても伝わってきて、すごく熱心なんだなと思いました。小グループに分かれての交流では、私たちの班の男子とは、あまり・・・というか正直、全然話をしなかったのですが、コマの軸を作るときは教えたりすることができてとても楽しかったです。東莞中学校の生徒もいくつかの折り方を知っていたらしく、いろんなものを作っていたのを見ていて楽しかったです。お互いに分かるのは英語でしたが、なかなか伝えたいことが伝わらないので、もっと英語を勉強していろんな人と交流ができるようになりたいなと思いました。



学校訪問ラッシュ 佐賀県内外より『学び合い』の授業参観!

ベネッセ教育研究開発センター発行「MEW21 Vol.3」に本校の校内研究が掲載されて以来、遠くは大阪府や岡山県の学校から授業参観に来られるようになりました。日程の都合上、1年生の数学と社会の授業を公開しています。参観された来校者は、口々に、次のような感想をお話になります。「こんなに自主的に勉強するようになるためにはどうすればよいの?」や「すばらしい生徒さんたちですね。誰とも教え合っている様子ははじめて見ました。」

少なくとも「社会の授業がきらいだ。」や「数学の授業はおもしろくない。」といった感想を持っている1年生はいないようで、学力面も少しずつ上がってきているようです。保護者、地域の方々もどうかお時間の都合がつけばご自由に授業参観されてください。お待ちしております。



